

平成30年度 地元報告会開催結果について【要旨】

日 時：平成31年3月23日（土）

地元報告会 13：00～13：55

場 所：多摩ニュータウン環境組合 管理棟 見学者説明室

出席者：阿部管理者、富澤事務局長、飯塚施設課長、星野総務課長（兼）出納課長、江尻
リサイクルセンター長、事務局5名

参加者：中組自治会2、唐木田自治会4名、落合自治連合会1名、 計7名

地元報告会の開催結果

次第1 阿部管理者あいさつ

次第2 報告

1 平成30年度多摩清掃工場の運営について

(1) 主な事業の取り組みの報告

ア 安全対策

- ・環境測定の充実、ISO14001 の適切な運用、適正処理（可燃破砕機刃交換・粗大破砕機ハンマー交換紹介）、省エネ化（空調設備更新・シートシャッター設置紹介）について報告。

イ たまかんニュース

- ・年2回 各100,000部発行、地域版年3回 各回約3,400世帯ポスティング

ウ 多摩清掃工場の見学来場者

- ・69団体 2,751人参加

エ 地元自治会等対象清掃施設見学会

- ・実施日：平成31年1月16日（水）
- ・実施場所：町田市役所 循環型施設整備課
東京たま広域資源循環組合

- ・参加者：地元自治会4名

オ 地域交流ふれあい事業

- ・平成30年10月21日たまかんフェスタ（来場者 約1,670人）

カ クリーンアップ作戦

- ・清掃工場職員による工場周辺美化活動、唐木田クリーンアップ作戦2018

キ 組合設立25周年式典

- ・実施日：平成30年10月21日（日）

ク 地元自治会等との情報交換会

- ・実施日：平成30年9月22日（土）、平成31年3月23日（土）

ケ 着ぐるみ「タマちゃん」の制作

(2) ごみ搬入量の推移について報告

構成市の人口は増加しているが、ごみの搬入量については毎年減少している状況

について報告。

(3) 平成30年度 多摩清掃工場へのごみ搬入量について報告

八王子市拡大区域、構成市応援処理分を含め平成31年2月末現在で可燃ごみ 55,256 トン、不燃ごみ 2,330 トン、粗大ごみ 1,926 トン、合計 59,513 トンであることを報告。

(4) 平成30年度 構成市間応援協定に基づく処理支援の受入れについて報告

ア 八王子市からの「応援ごみ」受入れ状況

①・受入期間 平成30年5月21日から平成30年7月6日まで

・受入理由 戸吹清掃工場の大規模改修工事のため

・搬入量と台数 3,425.41 トン 1,927 台

②・受入期間 平成31年2月12日から平成31年3月1日まで

・受入理由 戸吹清掃工場及び北野清掃工場修繕のため

・搬入量と台数 452.01 トン 205 台

イ 町田市からの「応援ごみ」受入れ状況

・受入期間 平成30年10月1日から平成30年10月30日まで

・受入理由 町田市清掃工場の不燃粗大ごみ破碎設備交換修繕によるプラント停止のため

・搬入量と台数 390.49 トン 555 台

ウ 環境組合から八王子市及び町田市への応援依頼

・依頼期間 平成30年7月27日

・依頼理由 多摩清掃工場のごみピット火災による受入停止のため

・搬入量 八王子市 可燃ごみ 3.2 トン 不燃ごみ 0.82 トン
町田市 可燃ごみ 8.13 トン

(5) 焼却炉運転日数について報告

1 炉運転 平成29年度 331 日、平成30年度 332 日(予定)、平成31年度 320 日(予測)

(6) 環境測定結果について報告

法令による規制基準値より厳しい自主規制値を定め、平成30年度の測定結果はすべて自主規制値以下であり安定的運転であったことを報告。

2 平成30年度リサイクルセンター運営状況について報告

・開館日数・来館者数 270 日 26,667 人 多目的室利用実績 374 回

・リサイクル品販売実績 家具・木材等 6,757 個 自転車・部品 82 点

・不用食器のリサイクル 持込者 582 人

3 平成31年度予算概要について説明

予算規模、歳入・歳出それぞれ 16 億 6,043 万 5 千円であることを説明。

歳入・歳出予算の主なものを説明。

4 平成31年度の事業予定について説明

(1) 構成市間のごみ応援受け入れの予定

①八王子市 可燃ごみ約 3,252 トン、不燃ごみ約 68 トン、粗大ごみ約 106 トン

②町田市 不燃ごみ約 100 トン

(2) 主な工事の予定について説明。

- ・ 不燃・粗大ごみ処理棟 分散型計算機制御システム更新工事
- ・ 可燃ごみ処理棟 落じん灰搬送設備設置工事

(3) 主なイベントについて説明。

- ・ 地域交流事業 たまかんフェスタ 10月20日
- ・ 施設見学会 夏休み子ども清掃工場見学会・煙突登り 8月
- ・ 唐木田クリーンアップ作戦 年末の予定

5 その他

(1) 地元自治会等対象清掃施設見学会の実施予定について説明。

- ・ 開催主旨 多摩清掃工場への理解を深めていただくために開催
- ・ 開催時期 : 秋頃(予定)、定員 40名程度
- ・ 対象自治会: 町田市上小山田町内会山中地区、唐木田自治会、中組自治会、唐木田李久保自治会、ハイライズタウン鶴牧管理組合、ヒルサイドタウン鶴牧管理組合、ホームタウン鶴牧管理組合、エステート中沢管理組合、落合自治連合会

(2) 住民説明会の開催結果について報告。

- ・ 開催日: 平成31年2月1日(金)、2月2日(土)の2回開催
- ・ 参加者数: 両日合わせ 10名
- ・ 説明内容: これまでの説明経過、新たな処理区域、区域再編までのスケジュールについて説明。
- ・ 主な質疑やご意見:
環境影響に関すること、収集区域選定(ごみ量確保)に関すること、広域化に関すること、地元との合意形成に関すること、次期処理施設に関すること、工場の運営に関すること、相互協力に関すること等。

6 質疑応答

質問者1 7月27日の火事の原因と対策、その後処置はどのようになっているのですか。

回答1 出火原因については、不燃・粗大ごみのうち、可燃分として焼却棟に送られたもののうちリチウムイオン電池が混入したことにより発火したものと推定しています。散水銃等による自衛消火活動を実施しましたが、消火に至らず消防による措置を行ったものです。

本来持ち込まれてはいけないリチウムイオン電池ですが、今後の対策としては、施設内選別処理の一層の徹底を図り再発防止に努めてまいります。

質問者1 組合広報紙等により分別の徹底を周知するなど必要ではないでしょうか。ごみを出す時に注意すれば良いわけなので、このようなことについても含めてお願いします。

回答1 ご意見のとおり、排出する段階で分別を徹底することが肝要と考えます。

組合を構成する八王子市、町田市、多摩市との会議の中でも市民への一層の周知を依頼しております。また、組合広報媒体においても分別の徹底について更に広報するよう図ってまいります。

質問者2 ごみが減少している要因について組合としての見解はあるのですか。

回答2 構成市における取組効果（プラスチック等資源化、有料化など）によりごみ減量化が図られているものと考えます。

質問者2 家庭レベルでは、ごみを出す量が減ってきていると実感がないので質問しました。

回答2 ごみを出されたものが資源化、リユースする方法が進んできていることも要因であると考えています。

質問者3 温水プールへの余熱利用は、今後も活用していくのですか。

回答3 隣接施設への余熱供給については、今後も計画的に行っていきます。

質問者3 多摩市も多摩ニュータウン環境組合に多くの負担金を投入しているが、組合は工場運転に伴う余熱利用も行い資源の有効活用に取り組まれているので、そうした環境面の配慮については主張しても良いと思う。また、活用を高める方策もお願いします。

質問者4 多摩清掃工場への施設見学は今も来ているのですか。

回答4 小学生社会科見学を中心に今年度は、69団体2,751人見学に来所しています。

質問者4 小学生の見学などを通じて、先ほど火災の話がありましたが、ごみを出す時分別が大切である事なども伝えていくことも必要なのかと思います。

回答4 施設見学に訪れる子供たちには、組合としても伝えたいと思います。

質問者5 分散型制御装置更新工事といのは今後続くのですか。

回答5 工事期間は2年間となっています。今年度と来年度までとなります。

質問者6 破砕機のハンマーは、新品と使用済みとどのような違いがあるのですか。

回答6 ハンマーは粗大ごみなどを叩いて破砕するものとなります。新品は扇型の形をしています。使用済みのものは扇型の角が削れてきますので定期的に交換をしています。

質問者6 使用済みのものは、何年くらい使ったものですか。

回答6 半年くらい使用したものです。